



タテシナソン

- 立科町をヤバくする学生アイデアソン、リアルガチの28時間。 -

学生による地域課題解決事業「タテシナソン」が 地方創生アワード最優秀賞を受賞しました

立科町が主催する「学生による地域課題解決事業「タテシナソン」」が、一般社団法人日本広告会社協会が実施した第4回「JLAA 地方創生アワード」において、長野県内の自治体で初めて最優秀賞を受賞しました。

■□ タテシナソンとは □■

タテシナソンは、立科町の事業者が抱える事業課題について、全国から集まった学生たちがチームを組み、28時間という時間の中で【現場を知り、町なかを走り、夜を徹して議論し】、磨き上げたアイデアで解決策を提案し、アイデアの実現を通して地域経済の活性化を図る「学生アイデアソン（「アイデア」と「マラソン」を掛け合わせた造語）」です。平成29年度から1年ごとに実施し、過去3回の開催で全国から55名の学生が参加しています。

■□ JLAA 地方創生アワードとは □■

日本最大の広告会社ネットワークを持つ一般社団法人日本地域広告会社協会（略称：JLAA）が2016年に開始した、JLAAの会員社が日本全国で支援する地方自治体の地方創生事業の中で優秀な事業を実施した地方自治体を表彰し、そのことを広く世の中に発表することで、優秀な地方創生事業の日本全国への横展開を促進するために実施するものです。

アワードの詳細 <http://www.jlaa.jp/award/>

■□ 過去の課題提供事業者と主な実現アイデア □■

- 第1回(H30.2月開催)：牛乳専科もうもう
→新商品の販売と商品ラベルの統一による既存商品の販売数増加
- 第2回(H30.9月開催)：山浦木材建材株式会社
→不動産を活用した、オリジナル家具の製作と新販路開拓
- 第3回(R1.9月開催)：マーガレットリフレクパーク
→既存アクティビティを組み合わせた体験型キャンプ（予定）

タテシナソンの詳細 <https://tateshinathon.com/>



タテシナソンは、長野県元気づくり支援金採択事業です
(平成30年度、令和元年度、令和2年度)

立科町 企画課 企画振興係
(課長) 竹重和明 (担当) 上前知洋
電話 0267-88-8403 (直通) FAX 0267-56-2310
E-mail: kikaku@town.tateshina.nagano.jp

報道関係 各位

with コロナの時代でも
第4回「JLAA地方創生アワード」の発表を通じて地方自治体を応援します
 ～学生による地域課題解決から保育士確保、DMOの取り組みまで多彩～



一般社団法人日本地域広告会社協会

<http://www.jlaa.jp/>

日本最大の広告会社ネットワークをもつ一般社団法人日本地域広告会社協会（略称：JLAA、所在地：東京都港区新橋6-14-5、理事長：後藤 一俊・株式会社中広代表取締役会長、会員数：72社）はこのほど、第4回「JLAA地方創生アワード」の受賞者を決定しました。コロナ禍による緊急事態宣言の発出を受け、発表が遅れましたが、with コロナの時代においても、JLAAでは当アワードの実施、発表を通じて地方自治体のさまざまなプロモーション活動を引き続き応援していきます。

2016年に始まった「JLAA地方創生アワード」は、地方自治体のさまざまな取り組みを表彰することを通じて、地方自治体の職員と受託した事業会社の担当者のモチベーション向上と、他の自治体への情報共有を目標としています。

4回目となる今回は、厳正な審査の結果、最優秀賞4事業、優秀賞4事業を下記のとおりそれぞれ決定しました。

＜最優秀賞＞	
●長野県立科町	学生による地域課題解決事業「タテシナソン」
●滋賀県大津市	大津市保育士確保に向けた情報発信強化業務
●海の京都DMO	海の京都DMOメディア・リレーションズとパブリシティ強化事業
●岡山県岡山市	G20 岡山保健大臣会合開催支援業務
＜優秀賞＞	
●茨城県常陸太田市	茨城県常陸太田市広報紙
●岐阜県笠松町	笠松町移住・定住のPRに関するパンフレット等作成業務
●岐阜県本巣市	郷味辛辛・ジビれるグルメスタンプラリー冊子作成業務
●岡山県	平成30年度「観光で岡山を元気に!!」首都圏等での観光情報発信強化事業

* 賞別、都道府県順（北から）

《総評》

今回の「JLAA地方創生アワード」は地方自治体が直面する課題解決に向けた若者人材の活用や人材確保のための情報発信及び広域で連携して活動するDMO等が受賞しています。趣向を凝らした細かい企画もありつつ、多くの業務を連携させて、大きな総合的なプロジェクトに仕立てている事例が多く、評価に値すると判断しました。特に、with コロナの時代においては、従来型の事業でなく、知恵を出し、工夫し、課題を乗り越えて事業を推進していくマインドが重要になってきます。事業を推進し、成功したという経験を、これからのwith コロナ時代の地方創生事業に活かしていただくことを期待しています。

= 第4回「JLAA地方創生アワード」の概要 =

- 名称：** 第4回「JLAA地方創生アワード」
- 選定期間：** 2020年1月1日～3月20日
- 対象事業：** JLAA会員が地方創生の分野に関わった地方自治体（都道府県及び市町村）が主管する2019年1月から12月までに実施された事業
- 表彰対象：** 都道府県及び市町村、及びそれに準ずる事業体
- 選定方法：** 対象期間中にJLAA会員社が受託した地方自治体の事業のうち、優秀と思われる事業についてエントリーして頂き、JLAAの理事で構成する審査委員会で審査を実施。各賞を決定しました

<最優秀賞>

◆事業主体：長野県立科町

◆事業名：学生による地域課題解決事業「タテシナソン」

〈概要〉立科町内の事業者が抱える経営課題を解決するアイデアを提案し、その実現を通して事業者の稼ぐ力の向上に結び付け、町経済を底上げすることを目的として、地域経済の活性化を図るため事業者が抱える経営課題を若者のアイデアを活用して『事業化』していく学生アイデアソンの事業を「タテシナソン」として開催。意欲ある学生・社会人との関係性を構築し、関係人口を増加させることに貢献した。



～審査委員コメントから～

✓首都圏の学生を巻きこんだところが良かった。

✓地域創生の良い企画。地域課題解決に全国から若者を募り、課題解決に向けてチームでアイデアを出し議論する。それをベースに産学官連携で定期的開催する等発展的で、将来的なU・I・Jターン者数の増加も期待が持てる。

✓地域創生のためのアイデア出しに最適で、リアルなコミュニケーションの再構築が出来ている。

✓学生と協同で取り組んだ点に工夫と苦勞を感じられるが、デザイン等も一貫しており、パワーを感じることが出来た。

<受賞者コメント>

この度は、素晴らしい賞をありがとうございます。今後も多くの方のお力やお知恵を借りながら、地域に役立つ事業に育ててまいります。